

Recruiting Information

進化 → 創造

vol.04

山長リース株式会社



会社名

山長リース株式会社

所在地

本社 愛知県海部郡大治町北間島字柿木 71-1

小牧第一機材センター 愛知県小牧市久保一色 1491

小牧第二機材センター 愛知県小牧市間々原新田 770

代表取締役社長

松岡 賢

資本金

1,000 万円

設立日
昭和 51 年 11 月 1 日

事業内容
次世代足場、クサビ式足場、枠組足場、IQ 足場

建設資材・機材及び仮設ハウス機械等の

リースレンタル及び販売・設置撤去工事

PRESENCE 存在する理由

こんな光景を思い出してほしい。

いつもの街並みの中、知らぬ間に白い囲いができるが
り、大きなトラックやダンプカー、見たこともない機
械が運び込まれる。

暑い日も寒い日も関係なく、常に警備員が立っている
雑多な工事現場。

それを見て、何をしているんだろうと考える人もいれ
ば、興味もなく通り過ぎる人もいるだろう。

囲いが取り払われると、完成した真新しいマンション
が建っている、そんな日常的な光景。

それができるのは、白い囲いの中で働く人たちが確実
にいるからだ。

そんなお手伝いをしているのが、山長リースである。

愛知を中心に
三重・岐阜
の東海三県へ
活躍の場が広がる

山長リースの主力業務 工事部



縦・横・斜めのパーツを組み合わせ綺麗に足場を組み上げていく



本社 2020年リニューアル



JOB DESCRIPTION 線でつなぐ



工事部って何？



山長リースの社員の多くは工事部の足場トビです。足場トビは、職長をリーダーに2~4名のチームで毎朝さまざまな現場に向かいます。チームは現場により入れ替えされ、社員全員と共に成長していきます。場数を踏むことで職長へとステップアップすることができます。

機材部って何？



機材部では、次の現場に必要となるさまざまな工事用機材（足場）をセンターからフォークリフトで集め、トラックに載せる準備をします。また持ち帰ってきた部材をメンテナンスし元のヤードに戻す業務も行います。現場からのリクエストに応じ部材を加工してオリジナルのバーツを作る事もあります。

CADって何？



設計はCADを使い現場に必要な足場の図面を作成する仕事です。建物の形に合わせ、どの部材がいくつ必要か、CADによるシミュレーションをし、最適な形を見つけていきます。建物の形は無限にあるので、設計力が生かされる世界です。

充実した社員サポート



山長リースは、社員を一番に考えてさまざまなサポートをしています。
業務に必要なものはすべて会社が支給。
ユニフォームなどだけではなく、フォークリフトや
足場の免許の取得に必要な費用もすべてサポートしています。
ゼロからでも安心して山長リースの仕事をスタートすることができます。





社会と仲間との繋がりに感謝し
【安全】
を最優先し社業に全力で取組み
当社の足場からの墜落災害を撲滅させ
誰も悲しまない社会創りに貢献します





「社員と会社が WIN-WIN になる」代表取締役社長 松岡賢

山長リースは、社員が当社に入社して良かった、と思って頂く事を、存在価値と定義付けしておりますが、本当の意味で、社員が HAPPY になるためには、会社も HAPPY になる必要があります。

みんなで全社一丸となって協力し、自社の生産性を高めて、利高利益体质な会社にする、そしてこの高収益が、社員の高待遇を下支えする、および、社員満足投資を積極的に行い、働きやすい環境整備を行う、また違う観点では、みんなで勉強し成長し、より高い顧客価値を創り上げ、お客様に感動をして頂く、そしてお客様から「お褒め」や「絆」を頂き、社員のやる気につながる、これらの例は、社員と会社が、WIN-WIN になっている状態と考えています。

樂する事が社員満足を生む、のではなく、全力で仕事に取組み、仲間と助け合い協力し合いながら高い品質でサービスを提供し、お客様にお喜び頂き、私たちの仕事が社会の役に立っている実感を得て、自分の居場所を会社の中で確立していく、同時に仕事を通して自己成長や自己実現を成し遂げていく、ここに社員満足の本質があると私は思います。

さて、私たちの MISSION は、「災害ゼロ！誰もが安心して安全に使える足場を提供する事！」です。

建設現場での死亡事故の多くを墜落が占める中で、少しでも事故で悲しむ人たちを減らしたい、当社で施工した足場から、絶対に人を落とさない、という想いで、この MISSION を掲げ、墜落灾害などの悲しみの連鎖を断ち切る事は私たちに課せられた社会的責任であると考えています。

高い技術でお客様にお喜び頂き、また墜落灾害を防ぎ社会貢献も果たし、同時に社員もやりがいを見出す、この WIN-WIN の状態からの好循環を社内で確実に沸き起こるよう、そして「さすが YAMACHOU！」と皆様からおっしゃって頂けるよう、今後も日々全力の精神で経営に取り組んで参ります。

